

梅雨に入り、蒸し暑い毎日が続いています。雨の日には、教室や図書室で読書をしたり、絵をかいたりして過ごす姿が見られます。



4年生のスクールカウンセラーによる面談の実施について

名古屋市の小学校では、4年生全員を対象として、スクールカウンセラーによる面談を実施します。4年生は発達段階において、友達との関わりや学習について悩む時期です。本校では5月27日(木)、6月10日(木)に面談を行います。

なお、4年生以外のお子様や保護者の方も、面談を希望される場合は、ご連絡ください。

熱中症対策について

ご梅雨に入り、汗が蒸発しにくく、体に熱がこもりやすい時期です。4月30日に配布しました「熱中症予防について」でお伝えしたように、天気や気温に応じて、熱中症対策をしていただきますようお願いいたします。



読み聞かせ活動(5月20日)



朝の時間にあすなろ会の方による本の読み聞かせを行いました。今後も月に一回程度開催し、職員も読み聞かせに参加する予定です。

あいさつ運動



毎週月曜日に代表委員が東門で挨拶運動を行っています。たくさんのあいさつが返ってくるようになってきました。これからもがんばっていきます。

【東門で挨拶運動する様子】

本年度の努力点研究について

【研究テーマ】

どの子ども伸びる大高北小学習モデル

～「分かる」「身に付ける」「活用する」授業づくり～

授業に対して困難さを感じている児童は、少なくありません。また、その困難さも様々です。その状況の中で、日本授業ユニバーサルデザイン（以下、UDと略記）学会は、授業の4つの階層（「参加」「理解」「習得」「活用」）と授業での困難さを除く工夫などを示した「授業のUD化モデル」を提案しています。困難さを除くことで、だれにとっても分かりやすい授業を目指しています。また、4つの階層の「参加」は児童が活動すること、「理解」は児童が学習内容を分かること、「習得」は学習内容を身に付けること、「活用」は学習した内容を生かして、発展問題を解いたり、適応化したりすることです。

本年度、本テーマについて研究3年目で、重点研究を「活用する」とするとともに、今までの研究成果を生かし、どの子ども伸びることが出来る授業づくりを進めていきます。

どの子ども伸びる大高北小 学習モデル

